

甲斐市立竜王北中学校 自己評価書（前期・後期）

平成29年1月31日（火）作成

校長 清水 千春

記述者 教頭 興石 信

学校教育目標 「豊かな心を持ち 自ら学び たくましく生きる生徒の育成」

学校経営方針

- （１）豊かな人間性の育成
- （２）確かな学力を育む指導と評価
- （３）体力向上と健康安全意識の向上
- （４）愛情と信頼に基づく生徒指導の充実
- （５）安全安心を基盤とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくり

分析・作成にあたって

（教職員アンケートについて）

- ・回答群A（そう思う）とB（ややそう思う）をまとめて「肯定的な回答」とし、回答率が90%を上回るものは「達成ができています」として評価する。
- ・A：4点、B：3点、C：2点、D：1点として回答を数値化し、各項目の平均値も算出した。
- ・「肯定的な回答」が85%を下回る、また、前期と比べ10ポイント以上差がある項目は、現在の本校の課題とする。
- ・「平均値」が3.2を下回る項目は、現在の本校の課題とする。

（生徒アンケートについて・保護者アンケートについて）

- ・教職員アンケートと関連がある項目については適宜取り上げる。

1 全体の評価結果

- ・肯定的な回答が45項目中36項目で90%を超え、教職員が高い意識で教育活動に取り組んでいる。

＜本校のオリジナル項目＞

- Ⅲ⑨「習得した知識・技能を活用する授業」（94.4%）
- Ⅳ⑦「道徳の時間を中心とした生徒の豊かな心の育成」（100.0%）
- Ⅵ③「読書に積極的に取り組むような指導」（100.0%）
- Ⅵ④「学校行事に進んで取り組むような指導」（100.0%）
- Ⅵ⑤「強化週間等を活かした指導」（100.0%）
- Ⅵ⑥「生徒が発表活動に主体的に取り組むような指導」（100.0%）

については全て、肯定的な回答が90%を超えている。

＜肯定的回答率85%あるいは平均値3.2を下回る項目＞ ※現状の課題となるもの

- Ⅱ②「危機管理マニュアルの理解」（平均値3.2）
- Ⅲ④「個に配慮した授業」（平均値3.2）
- Ⅲ⑥「教材教具、備品等を活用した授業」（平均値3.2）
- Ⅲ⑧「宿題や家庭学習に対する指導」（85.0%）
- Ⅴ①「地域の人材や地域の教育力を生かす指導」（61.9%、平均値2.7）
- Ⅴ②「保護者・地域の願いを聞く等、情報収集の機会の確保」（77.2%、平均値3.0）
- Ⅴ④「PTA活動への主体的な参加」（82.6%）

＜肯定的な回答が、前期に比べて10ポイント以上の差があった項目＞ ※現状の課題となるもの

- Ⅱ②「危機管理マニュアルの理解」-12.5ポイント（後期87.5% 前期100.0%）
- Ⅲ④「個に配慮した授業」-10.5ポイント（後期89.5% 前期100.0%）
- Ⅲ⑧「宿題や家庭学習に対する指導」-10.0ポイント（後期85.0% 前期95.0%）
- Ⅴ①「地域人材や地域の教育力を生かす指導」-13.1ポイント（後期61.9% 前期75.0%）
- Ⅴ②「保護者や地域からの学校への要望を聞く機会」-18.6ポイント（後期77.2% 前期95.8%）
- Ⅴ④「PTA活動への主体的な参加」-17.4ポイント（後期82.6% 前期100.0%）

2 項目ごとの評価結果（達成状況・改善策）

I 学校教育目標に関して・学校経営について（教職員用アンケートから）

達成状況	・全7項目のうち6項目で肯定的な回答が90%以上（うち5項目は100%）である。
改善策	・管理職が、日常的に教職員の観察や声かけを行い、一人一人の勤務状況や抱えている課題や悩み等について把握するよう努める。また、必要に応じて面談を行い、ストレスが過度に蓄積しないように配慮する。 ・校務分掌や学校の組織的な運営について振り返り、新年度に向け見直しを図っていく。 ・月に一度、定時退勤日を設け、実行していく。

II 学校運営について（教職員用アンケートから）

達成状況	・ 8 項目中 7 項目で肯定的な回答が 90%を超えている。 ・ 「危機管理マニュアルの理解」（平均値）3. 2 （肯定的な回答）前期比 -12.5ポイント							
	番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
	2	あなたは、危機管理（防犯、防災、事件、事故等）マニュアルを理解している。 （平均値：後期 3.2、前期 3.2）	本校	33.3	54.2	12.5	0.0	87.5
			市	31.9	61.9	6.3	0.0	93.8
			前期本校	16.7	83.3	0.0	0.0	100.0
改善策	・ 危機管理関係のマニュアルについては、年度始めの職員会議等を利用したり防災訓練等の実践の場を捉えたりして、内容の周知徹底に努めていく。							

III 学習指導について（教職員アンケート、生徒用アンケートから）

- ・9項目中5項目で肯定的な回答が90%を超えている。
- ・肯定的な回答率及び平均値が低い項目があり、課題である。

【授業について】

- ・「個に配慮した授業」（平均値）3.2

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
4	あなたは、個に配慮した授業を行っている。 （平均値：後期 3.2、前期 3.3）	本校	31.6	57.9	10.5	0.0	89.5
		市	38.4	53.6	7.2	0.7	92.0
		前期本校	26.3	73.7	0.0	0.0	100.0

- ・「教材・教具等を活用した授業」（平均値）3.2

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
6	あなたは、教材教具や備品等を活用した授業を行っている。 （平均値：後期 3.2、前期 3.4）	本校	33.3	55.6	11.1	0.0	88.9
		市	46.7	43.8	9.5	0.0	90.5
		前期本校	47.4	42.1	10.5	0.0	89.5

＜教職員アンケートと生徒アンケートの相関＞

（教職員アンケートから）

- ・「学びの意欲を喚起する授業」（肯定的な回答）100%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
2	あなたは、児童生徒の学びの意欲を喚起する授業を行っている。 （平均値：後期 3.3、前期 3.4）	本校	31.6	68.4	0.0	0.0	100.0
		市	42.0	53.6	4.3	0.0	95.6
		前期本校	42.1	57.9	0.0	0.0	100.0

- ・「基礎・基本の定着を図る授業」（肯定的な回答）100%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
3	あなたは、基礎・基本の定着を図る授業を行っている。 （平均値：後期 3.8、前期 3.8）	本校	78.9	21.1	0.0	0.0	100.0
		市	59.4	38.4	2.2	0.0	97.8
		前期本校	84.2	15.8	0.0	0.0	100.0

※これらの項目に対する肯定的な回答の割合は高いことから、「意欲を引き出す授業」、「わかる授業」を行っているとして自己認識している教師の姿がうかがえる。

(生徒アンケートから)

- ・「学校の授業が楽しいですか」(肯定的な回答) 91.6% 学年が上がるにつれて割合が減少

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
5	学校の授業は楽しいですか。 A とても楽しい B 楽しい C あまり楽しくない D 楽しくない	本校	36.3	49.6	10.6	3.5	85.9
		1年	53.9	36.8	6.6	2.6	90.7
		2年	27.1	58.6	14.3	0.0	85.7
		3年	27.5	53.8	11.3	7.5	81.3
		市	27.2	54.3	14.5	4.0	81.5

- ・「先生はよく勉強を教えてくださいますか」(肯定的な回答) 97.4%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
6	先生はよく勉強を教えてくださいますか。 A よく教えてくれる B 教えてくれる C あまり教えてくれない D 教えてくれない	本校	62.6	34.8	2.2	0.4	97.4
		1年	73.7	26.3	0.0	0.0	100.0
		2年	60.6	35.2	4.2	0.0	95.8
		3年	53.8	42.5	2.5	1.3	96.3
		市	49.8	47.0	2.4	0.8	96.8

※これらの回答から、本校の生徒と教師が良好な関係を作りながら授業を行っていることがわかる。

※その一方で、学年が上がるにつれ、授業に対して興味や関心をもてない生徒が多くなっている実態がある。「わかる授業」「意欲を引き出す授業」を行っているとする教師の認識とのずれがあることがわかる。この結果を真摯に受け止め、授業力の向上に努めていく必要がある。

(教職員アンケートから)

- ・「質問や発言が出てくる授業を行っていますか」(肯定的な回答) 88.8%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
7	あなたは、質問や発言が出てくる授業を行っている。 (平均値:後期 3.3、前期 3.4)	本校	44.4	44.4	11.1	0.0	88.8
		市	47.4	45.3	7.3	0.0	92.7
		前期本校	52.6	42.1	5.3	0.0	94.7

- ・「授業中に発言や発表をしますか」(肯定的な回答) 65.9%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
11	授業中に発言や発表をしますか。 A よくする B する C あまりしない D しない	本校	31.8	34.1	29.6	4.5	65.9
		1年	40.8	28.9	28.9	1.3	69.7
		2年	20.0	41.4	37.1	1.4	61.4
		3年	33.8	32.5	23.4	10.4	66.3
		市	30.3	35.3	26.4	8.0	65.3

※これらの回答から、「発言や質問」に関する教師の意識と生徒の実態に大きな隔たりがあることがわかる。この結果を真摯に受け止め、発言者が固定しないような配慮も含め、授業改善に努めていく。

(保護者アンケートから)

- ・「学校は熱心に授業に取り組んでいると思う」(肯定的な回答) 80.0%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率	A+B
11	学校は熱心に授業に取り組んでいると思う。	全校	16.2	63.8	11.8	0.9	7.4	80.0
		1年	21.3	64.0	6.7	1.3	6.7	85.3
		2年	12.5	61.1	12.5	0.0	13.9	73.6
		3年	15.6	64.9	15.6	1.3	2.6	80.5

※この回答から、「子どもにしっかりと学力を身につけてほしい。そのために、今以上に先生たちによりやすしい授業を行ってもらいたい」という保護者の我が子への願いと学校への期待がうかがえる。

【宿題・家庭学習について】

(教職員アンケートから)

- ・「宿題や家庭学習に対する指導を行っていますか」(肯定的な回答) 85.0% 前期比 -10.0ポイント

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
8	あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。 (平均値:後期 3.3、前期 3.4)	本校	40.0	45.0	15.0	0.0	85.0
		市	43.1	47.4	7.3	2.2	90.5
		前期本校	45.0	50.0	0.0	5.0	95.0

(生徒アンケートから)

「宿題を忘れずにしますか」(肯定的な回答) 86.7%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
12	宿題を忘れずにしていますか。 A よくしている B している C あまりしていない D してしない	本校	46.7	40.0	12.4	0.9	86.7
		1年	54.7	37.3	6.7	1.3	92.0
		2年	45.1	39.4	15.5	0.0	84.5
		3年	40.5	43.0	15.2	1.3	83.5
		市	46.0	41.3	10.3	2.3	87.3

(保護者用アンケートから)

・「お子さんは宿題を忘れずにしていますか」(肯定的な回答) 82.5%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率	A+B
12	お子さんは、宿題(課題)を忘れずにしていますか。	全校	37.3	45.2	10.1	0.0	7.5	82.5
		1年	44.0	46.7	6.7	0.0	2.7	90.7
		2年	29.2	44.4	11.1	0.0	15.3	73.6
		3年	39.5	42.1	13.2	0.0	5.3	81.6

※これらの回答から、宿題については、教師・生徒・保護者のとらえ方が一致していることがわかる。

(生徒用アンケートから)

・「平日、学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか」(肯定的な回答) 67.9%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
13	平日、学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか。 (1年:70分、2年:80分、3年:90分) A よくしている B している C あまりしていない D してしない	本校	26.0	41.9	23.3	8.8	67.9
		1年	34.2	51.3	10.5	3.9	85.5
		2年	18.3	36.6	35.2	9.9	54.9
		3年	25.0	37.5	25.0	12.5	62.5
		市	22.3	42.4	27.3	8.0	64.7

(保護者用アンケートから)

・「お子さんは、宿題の他にも家庭で自主学習をしていますか」(肯定的な回答) 50.2%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率	A+B
13	お子さんは、宿題の他にも家庭で自主学習をしていますか。	全校	15.3	34.9	34.1	13.5	2.2	50.2
		1年	20.0	28.0	40.0	10.7	1.3	48.0
		2年	6.9	33.3	34.7	20.8	4.2	40.2
		3年	18.2	45.5	26.0	9.1	1.3	63.7

※これらの回答から、家庭学習(宿題以外)については、教師の指導が十分に生徒に伝わっていない様子がうかがえる。

【授業について】

- ・主体的に授業へ参加し、意欲的に発言や発表をしようとする態度をいかに育成していくか、個に応じた指導や支援をいかに行っていくかに課題がある。
- ・この2点を重点に、学校として、引き続き、「わかる授業」の確立を目指し、授業改善に取り組んでいく必要がある。具体的には、県教委から示されている“授業改善のための7つの視点”の日常化や“言語活動ハンドブック”の活用、校内研究等を活用した組織的な研究、学習及び実践を行う。
- ・“未来ある子ども達に社会で生きていくために必要となる確かな学力を身につけさせることが学校の使命である”ことを職員全体で再確認し、教師一人ひとりが切磋琢磨し、学校として“授業力の向上”に取り組んでいく。

【家庭学習・自主学習について】

- ・十分な時間が確保されていない現状がある。
- ・「北中ノート」の継続により、授業と家庭学習の有機的な結びつきをさらに追求し、家庭学習の定着を図っていく。県教委から示されている“家庭学習八か条”も活用していく。
- ・学習量や取組時間の目安(1年生70分、2年生80分、3年生90分)についても、学校として、生徒や保護者への意識の啓発や全校的な取組を行っていく。生活習慣調査「ステップアップ大作戦」の結果を活用し、日ごろから、家庭生活での有効な時間の使い方を意識し、自分で時間の管理ができる力を一人ひとりの生徒に身につけさせていく。

Ⅳ 生徒指導について（教職員用アンケート、生徒用アンケート、保護者用アンケートから）

- ・ 6 項目全てで肯定的な回答が 100%である。

＜生徒指導に関する生徒、保護者の意識＞

【きまりや約束ごとについて】

（生徒用アンケートから）

- ・ 「学校のきまりや約束ごとを守っていますか」（肯定的な回答率） 96.5%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
21	あなたは、学校のきまりや約束ごとを守っていますか。	全校	64.8	31.7	2.6	0.9	96.5
		1 年	67.1	30.3	2.6	0.0	97.4
		2 年	63.4	33.8	1.4	1.4	97.2
		3 年	63.8	31.3	3.8	1.3	95.1
		市	51.1	44.5	3.5	0.9	95.6

【相談できる友達・先生について】

- ・ 「困ったことがあったら相談できる友達はいますか」「いない」 1.3%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
3	困ったことがあったら相談できる友達はいますか。	全校	87.7		11.0	1.3	
		1 年	90.8		9.2	0.0	
		2 年	80.3		18.3	1.4	
		3 年	91.3		6.3	2.5	
		市	89.0		9.1	1.9	

- ・ 「困ったことがあったら相談できる先生はいますか」「いない」 4.0%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
10	困ったことがあったら相談できる先生はいますか。	全校	72.4		23.6	4.0	
		1 年	77.3		20.0	2.7	
		2 年	64.8		32.4	2.8	
		3 年	74.7		19.0	6.3	
		市	66.6		26.0	7.4	

（保護者アンケートから）

- ・ 「お子さんのことで、相談できる先生がいますか」「いない」 6.6%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率
15	お子さんのことで、相談できる先生がいますか。	全校	68.2		23.5	6.6	5.8
		1 年	68.0		20.0	5.3	6.7
		2 年	54.2		29.2	6.9	9.7
		3 年	70.7		20.0	8.0	1.3
		市	60.1		24.3	9.1	6.6

達成状況

改善策

- ・ ・ 相談できる友達や先生がいない生徒が少数ではあるが存在する。このことを職員一人ひとりが深く受け止め、学校として、日頃の生徒との関わりを見つめ直し、よりよい関係づくりを今後も地道に進めていく。
- ・ ・ お子さんのことで相談できる先生がいない保護者が存在する。子どもの健やかな成長のためには、家庭と学校の連携が必要である。教師から気軽に保護者の方に声をかけ、相談しやすい環境づくりに努めていく。

V 地域との連携について（教職員アンケート、保護者アンケートから）

- ・ 9 項目中、肯定的な回答が 90%を超えた項目 5 項目である。
- ・ 肯定的な回答率及び平均値が低い項目(肯定率 85%、平均値 3.2 以下)があり、課題である。

【地域の教育力の活用、地域の要望等について】

- ・ 「地域人材や施設を活用した教育活動」(肯定的な回答) 61.9%、前期比-13.1ポイント、平均値 2.7

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
1	あなたは、教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導を行っている。(平均値:後期 2.7、前期 2.9)	本校	14.3	47.6	33.3	4.8	61.9
		市	19.2	52.7	22.8	5.5	71.9
		前期本校	12.5	62.5	25.0	0.0	75.0

- ・ 「保護者や地域の学校への要望を聞くなど情報収集の機会」

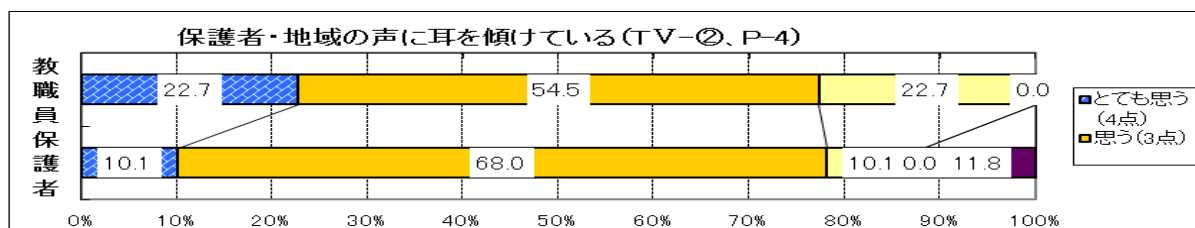
(肯定的な回答) 77.2%、前期比-18.6ポイント、平均値 3.0

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
2	あなたは、保護者や地域の願いに応えるため、学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報収集を行っている。(平均値:後期 3.0、前期 3.4)	本校	22.7	54.5	22.7	0.0	77.2
		市	28.0	53.3	16.0	2.7	81.3
		前期本校	45.8	50.0	4.2	0.0	95.8

(保護者アンケートから)

- ・ 「学校は、保護者・地域住民からの声に耳を傾けている」(肯定的な回答) 78.1%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率	A+B
4	学校は、保護者・地域住民の声に耳を傾けていると思う。	全校	10.1	68.0	10.1	0.0	11.8	78.1
		1年	10.8	77.0	2.7	0.0	9.5	87.8
		2年	9.7	55.6	15.3	0.0	19.4	65.3
		3年	10.4	68.8	13.0	0.0	5.3	79.2
		市	6.1	65.7	15.7	1.8	10.6	71.8



※これらの回答から、「保護者や地域の声は今以上に聞いていく必要がある」という点で、教職員と保護者の認識が一致していることがわかる。

【PTA活動について】

- ・ 「PTA活動への主体的な参加」(肯定的な回答) 82.6%、前期比 -17.4ポイント

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
2	あなたは、PTA活動に主体的に参加している。(平均値:後期 3.4、前期 3.6)	本校	56.5	26.1	17.4	0.0	82.6
		市	51.0	41.9	6.5	0.6	92.9
		前期本校	58.3	41.7	0.0	0.0	100.0

(保護者アンケートから)

- ・ 「PTA活動に参加していますか」(肯定的な回答) 75.9%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率	A+B
20	あなたは、PTA活動に参加していますか。	全校	18.0	57.9	16.7	7.5		75.9
		1年	18.7	62.7	12.0	6.7		81.4
		2年	16.9	53.5	18.3	11.3		70.4
		3年	19.5	54.5	20.8	5.2		74.0
		市	13.5	55.3	24.4	6.8		68.8

※これらの回答から、教職員、保護者のPTA活動へ主体的な参加は8割程度であることがわかる。

- ・これからの学校には、学校・地域・保護者が一体となって子どもの成長を支えていく“地域とともにある学校”づくりの視点が必要である。中学生のこの時期に、多くの大人との出会いの場を設け、多様な体験を通してさまざまな価値観と出会わせることが豊かな心の育成につながる。また、特色ある学校づくりの観点からも、地域の資源（人・物・歴史や地理の特性など）を生かした“社会に開かれた教育課程”が求められている。こうした点を教職員全員が認識し、各教科や総合・道徳・特別活動の担当で、積極的に地域人材や施設の活用を図っていく。また、校務分掌への地域と学校をコーディネートする役職の位置づけについて研究や検討を行っていく。
- ・今年度は、授業参観を年1回から2回とし、保護者に生徒の姿を見てもらう機会を増やした。その一方で、学級懇談会は従来どおり5月の授業参観時の1回のみにとどまっている。保護者の意見を反映した学校経営を進めるためにも、2月の授業参観時にも学級懇談会を設けることも検討していきたい。
- ・引き続き、PTA学校委員会や学校評価委員会を活用し、保護者や地域の学校に対する願いや要望を聞く機会を充実させていく。
- ・PTA活動については、新たな活動を増やしていくという方向ではなく、今ある各専門部の活動の質的な充実を図っていくことで、魅力あるPTA活動にしていきたい。

VI 学校の特色に関して（職員用アンケート、生徒アンケート、保護者アンケートから）

- ・全6項目で肯定的な回答が100%である。

<生徒アンケート、保護者アンケートとの相関>

【あいさつについて】

- ・「あいさつの指導」（肯定的な回答）100%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
1	児童・生徒が進んで挨拶するよう、指導に努めている。 (平均値:後期3.8、前期3.9)	本校	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0
		市	69.4	28.1	2.5	0.0	97.5
		前期本校	91.7	8.3	0.0	0.0	100.0

（生徒用アンケートから）

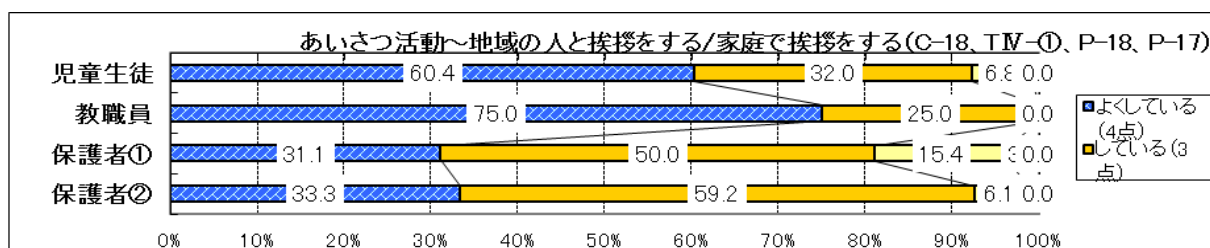
- ・「地域の人へのあいさつ」（肯定的な回答）92.4%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
18	地域の人と出会ったら挨拶をしていますか。	全校	60.4	32.0	6.8	0.9	92.4
		1年	67.6	28.4	2.7	1.4	96.0
		2年	62.3	31.9	4.3	1.4	94.2
		3年	51.9	35.4	12.7	0.0	87.3
		市	51.3	37.8	8.6	2.3	89.1

（保護者用アンケートから）

- ・「あいさつの指導」（肯定的な回答）81.1%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率	A+B
18	ご家庭では、お子さんに地域の人々と出会ったら挨拶をするように言っていますか。	全校	31.1	50.0	15.4	3.5	0.0	81.1
		1年	36.0	48.0	14.7	1.3	0.0	84.0
		2年	23.6	54.2	16.7	5.6	0.0	77.8
		3年	32.9	48.7	14.5	3.9	0.0	81.6
		市	31.0	53.9	11.8	3.1	0.3	84.9



※これらの回答から、学校でも家庭でも、子どもに対して、あいさつの指導を心がけ、また、生徒自身も地域の方へのあいさつを心がけていることがわかる。

【行事指導について】

・「行事への積極的な参加の指導」（肯定的な回答）100%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	A+B
4	紫龍祭・強歩大会・合唱発表会等に生徒が進んで取り組むよう、指導に努めている。 (平均値:後期 3.90、前期 4.0)	本校	75.0	25.0	0.0	0.0	100.0
		市	76.8	22.6	0.4	0.0	99.4
		前期本校	95.8	4.2	0.0	0.0	100.0

（保護者用アンケートから）

・「行事への熱心な取組」（肯定的な回答）98.7%

番号	質問内容		A率	B率	C率	D率	E率	A+B
23	学校は、紫龍祭・強歩大会・合唱発表会等の行事に力に取り組んでいると思う。	全校	58.8	39.9	0.9	0.0	0.4	98.7
		1年	68.0	32.0	0.0	0.0	0.0	100.0
		2年	49.3	47.9	1.4	0.0	1.4	97.2
		3年	59.7	39.0	1.3	0.0	0.0	98.7
		市	25.9	50.5	13.3	4.3	6.0	76.4

※これらの回答から、行事への取組については、教職員と保護者が同じ認識でいることがわかる。

改善策

- ・あいさつは人間関係の第一歩である。今後は、より気持ちをこめてあいさつできるように指導していく。
- ・行事を通して豊かな経験をさせることが生徒一人ひとりの成長を促すことになる。各行事の目的や生徒のどんな面を伸ばさせていくかといったことについて、教職員が共通理解を深め、生徒と力を合わせて学校が一つとなって行事に取り組んでいきたい。そして、その過程を通して、成就感や達成感を味わわせ、自己有用感を醸成していく。
- ・今後も、生徒の実態や地域の特性を踏まえ、教職員の個性を活かしながら、特色ある学校づくりを推進していく。そのためにも、PDCAサイクルによる行事や学校運営を行っていく。

3 まとめ

<成 果>

- ・教職員による自己評価アンケートでは、教職員が高い課題意識を持って教育活動にあたっていることがわかった。
- ・生徒アンケートでは、生徒の実態がわかり、改善の方向性や今後の教育活動、学校経営のあり方を考えていく機会となった。
- ・保護者アンケートでは、本校の教育活動や学校運営についての保護者のとらえ方や見方を把握することができ、子どもを育てる点で同じ立場として、保護者と協働して、教育活動を展開していく上で有意義であった。

<課 題>

- ・項目によっては、教職員と生徒及び保護者のとらえ方や認識に差が見られた。その点については、真摯に受け止め、本校の教育活動を見つめ直す貴重な材料としたい。
- ・改善を図る必要のある項目については、学校全体で知恵を出し合い、合意形成を行い、チームとして取り組んでいく。また、即時に結果が出なくても継続して粘り強く取り組んでいく。
- ・今回の結果をこの1年間の本校の教育活動の結果であると捉え、教職員で共有し、次年度に確実ににつなげていく。

